

H28年度日本精神科医学会学術教育研修会作業療法士部門
「精神科作業療法士が地域へ向けてできるアプローチ」



Understanding and support for schizophrenia

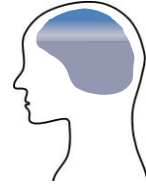
統合失調症の理解と対応

「ひとと作業・生活」研究会主宰、山根 寛
Hiroshi Yamane ; OTR, PhD
Chairman of Society of Human and Occupation-Life: SHOL
Professor Emeritus of Kyoto University

統合失調症の不思議



統合失調症の不思議



- 人類が誕生したときからあるという
- 100人に1人弱発症するという。それは何を意味するのか？
- 性差はほとんどないという。それは何を意味する？
- 思春期から青年期にかけての発症が多い。どうしてなのか？
- ネガティブ, 自分の考え, 命令, 対話性などが特徴の幻聴は何を意味するのか？
- 迫害, 関係, 被害的, 注察などが特徴の妄想は何を意味するのか？

そして

- 原因はいまだ不明。考えられていることは
 - 素因 (ストレスへの脆弱性)
 - 環境
 - 契機 (進学・就職・独立・結婚などの人生の進路 etc.)

3

統合失調症の不思議

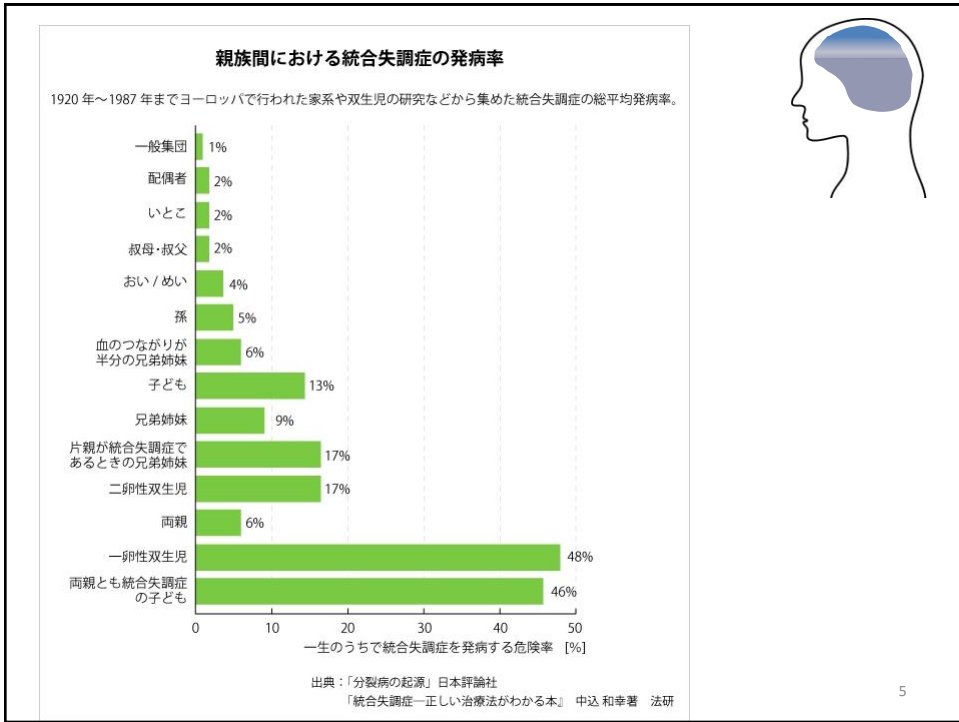


- 人類が誕生したときからあるという
- 100人に1人弱発症するという。それは何を意味するのか？
- 性差はほとんどないという。それは何を意味する？




人間にとって必要なものと関連があるのではと考えてみると

4




統合失調症の不思議



- ・ 思春期から青年期にかけての発症が多い。どうしてなのか？

↓

社会的動物としての成長と関連があるのではと考えると



統合失調症の不思議



- ネガティブ, 自分の考え, 命令, 対話性などが特徴の幻聴は何を意味するのか?
- 迫害, 関係, 被害的, 注察などが特徴の妄想は何を意味するのか?



症状は私たちに迫る危機を知らせてくれるものと考えてみると

7

統合失調症の不思議



- 原因ははまだ不明。考えられていることは
 - 素因 (ストレスへの脆弱性)
 - 環境
 - 契機 (進学・就職・独立・結婚などの人生の進路 etc.)



喘息体質と喘息の発作の関連を考えてみると

8

統合失調症の不思議



- 変化する疾患名

クレペリン1899 → 複数の脳疾患をカテゴリーとして早発性痴呆症

ブロイラー1911 → スキゾフレニアSchizophrenia



単純型痴呆, 破瓜病, 緊張病, 妄想性痴呆をまとめたもの

* 日本語: 精神内界失調疾患, 精神解離症, 精神分離症
精神分裂症など一定しない訳語

1937年日本精神神経学会が精神分裂病提唱

→2002年から統合失調症



統合失調症は一つの疾患なのか?

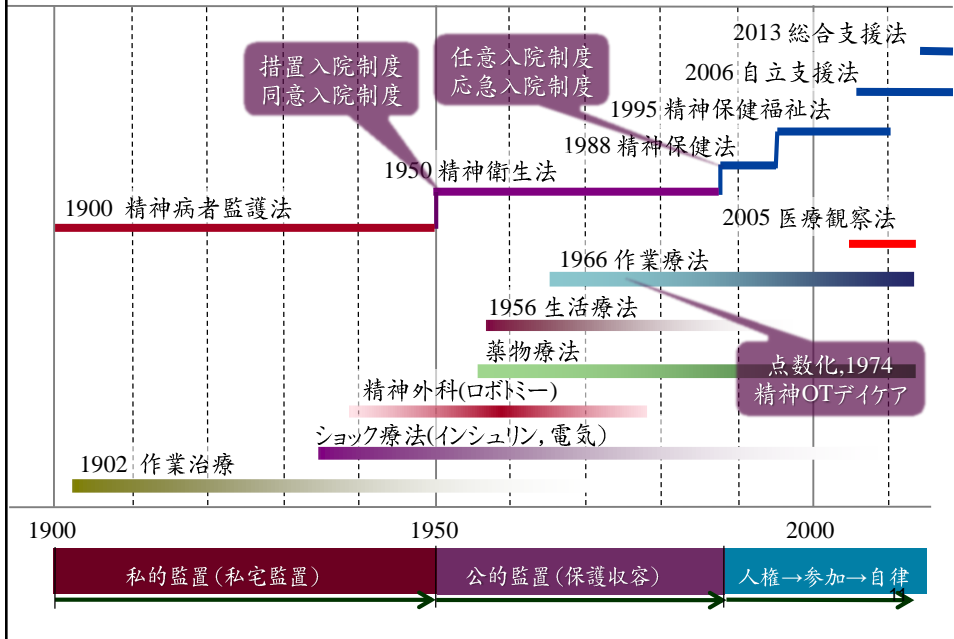
9

寄りそって観えたこと

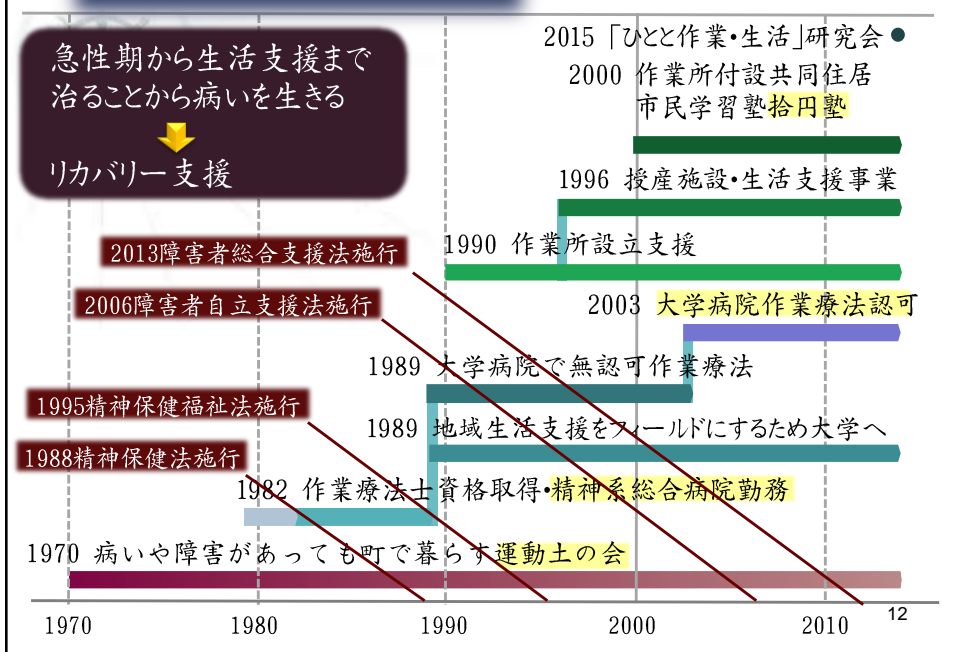


10

わが国の精神保健の変遷と作業療法



寄りそって観たこと



寄りそって観えたこと

精神科病院で確信したこと



二重の苦しみの存在

疾患・障害に対する誤解によるスティグマ
治るといことが難しい疾患

病いや障害の正しい理解
をどう啓発するか

長期に入院する必要はない

長期の入院が生活機能を奪う
治る, 治すことから病いを生きる(リカバリー)
生活を通してリハビリテーション

治るものは治すが
治る・治すから病いを生きる
病いも生きるへ

人的環境が機能障害、活動制限に影響

ひとが補助具に ころの車いす(共助)
配慮はしても遠慮はしない(共生)

ともにおこなう生活行為を通
じた支援へ

13

寄りそって観えたこと

作業療法を通して見えた統合失調症



- 生活に必要な体験の不足、歪みがある
- 集中力、記憶力、整理能力、計画能力、問題解決能力など
社会機能(統合的な認知機能)の障害がある
- 状況や人への依存性が高い(限局された依存関係)
- 要素的な障害や問題への対処はあまり効果がない
- 個々の差が大きい(同じ疾病?)

?

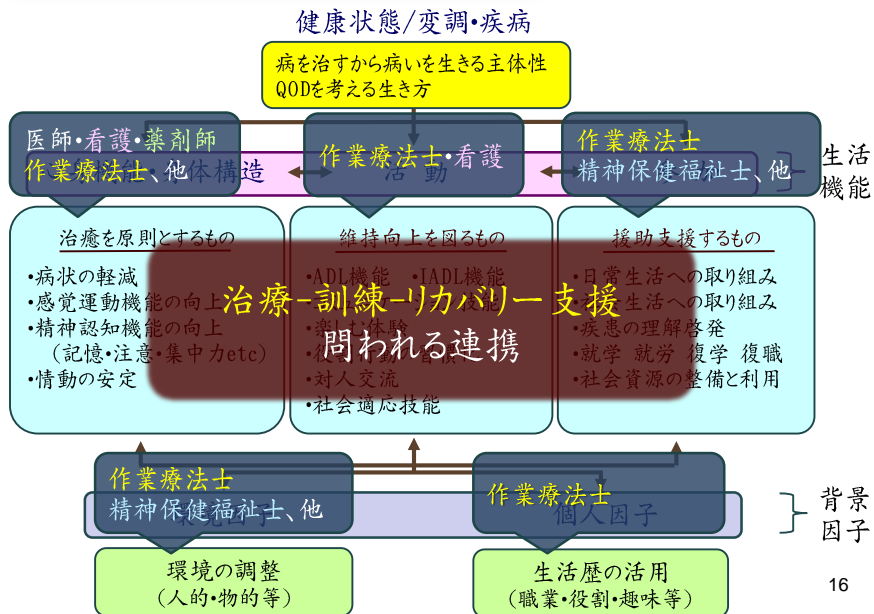
原因(素因、環境?)と**対処**(薬、精神療法、学習、環境調整?)

統合失調症への対応



統合失調症への対応

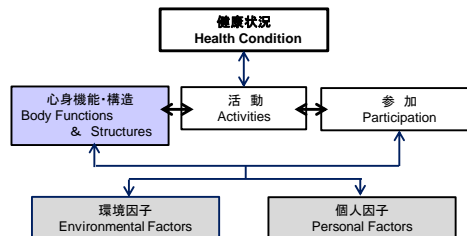
障害の理解



統合失調症への対応 心身機能の治療

薬物療法による病状の軽減

思考の障害(妄想)
 知覚の障害(幻覚)
 自我意識の障害
 意志・欲望の障害
 感情の障害
 認知機能障害
 (社会機能障害の主要原因)



作業療法の役割

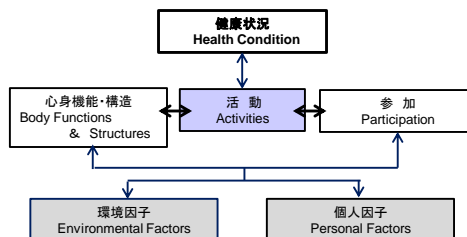
病的症状からの早期離脱
 (服薬最少量による症状安定)
 二次的障害(遷延)の防止

17

統合失調症への対応 活動の支援

何ができないかより
 どうすればできるか
 できないことをできないままにしない

生活維持活動 [ADLの障害
 IADLの障害]
 コミュニケーション障害
 対人関係技能障害
 作業遂行技能障害
 社会資源の利用制限
 その他の活動の制限



作業療法の役割

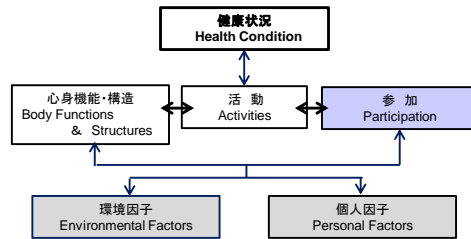
生活行為の再体験
 生活技能習得
 作業を介した認知行動修正

18

統合失調症への対応

参加の支援

日常生活・社会生活への
関与に対する支援



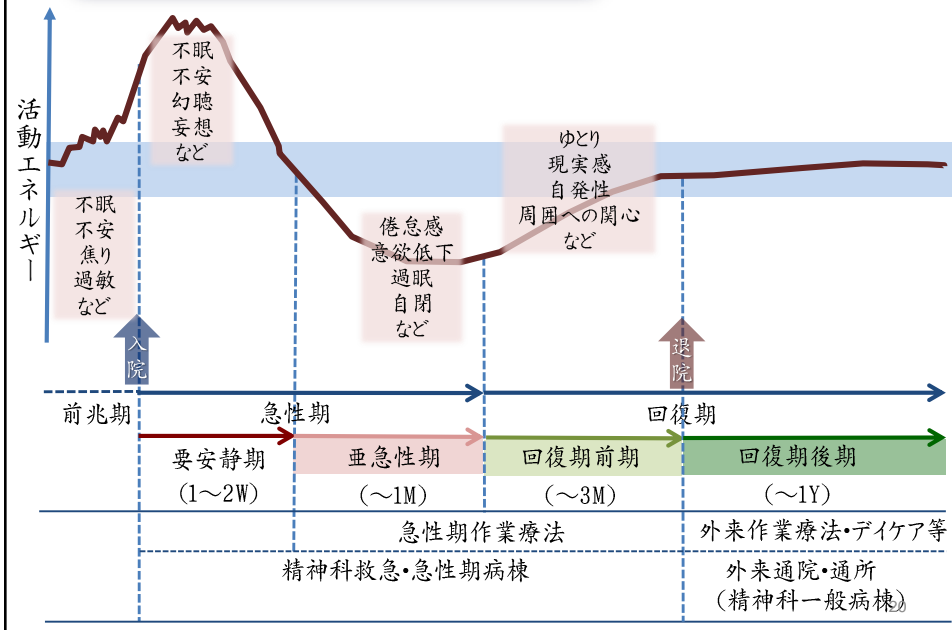
- 家庭生活
- コミュニティライフ
- 市民生活
- 社会生活
- 就労・復職
- 修学・復学
- その他社会活動

作業療法の役割

セルフコントロールの支援
習得技能の生活への汎化
リハビリ支援

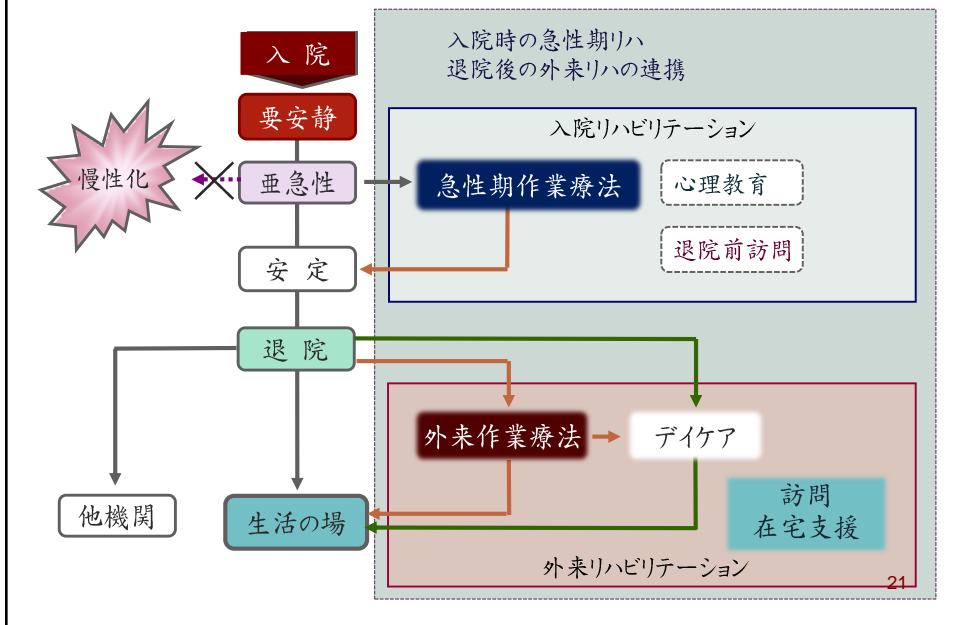
統合失調症への対応

回復の経過



統合失調症への対応

リハシステム



統合失調症への対応



- 早期退院支援としっかり安心して休養する期間と環境が必要
(安心・安全の保障, 生活機能を低下させないかわりと環境
急性期リハビリテーション体制の整備)
- 言語的指導より具体的な生活行為を通じた体験が有効
(体験に際しても他者によるカテゴリー化が必要)
- 同じことをいろいろな方法で提供することが必要
- 個別治療より小グループのほうが効果的
- それなりに体得されるが繰り返しが必要
- 社会機能の障害という視点が必要

統合失調症への対応



- 基本病理は変わらないが生活障害の軽減は可能
- 作業により薬物量の適正化が可能
- 早期の治療が可能なら入院は調整程度で外来で可能
- 生活行為を通じた認知行動修正が効果的



作業療法の知識技術はますます必要とされるが作業療法士は淘汰

23